

平成28年度第1回南城市総合教育会議（議事録）

日時：平成28年4月20日（水） 14：00～15：03

場所：南城市役所 大里庁舎 3階 西側第2会議室

参加者：南城市長 古謝景春

教育委員長 金城一男、教育長 山城馨

教育委員 前城盛雄、屋宜哲司、上原廣子

首長部局 総務部長 當眞隆夫、総務課長 泉直人、総務係長 新垣郷太

教育委員会 教育部長 新垣聡、教育総務課長 森田松吉、

教育総務課係長 外間明

1. 市長挨拶

委員の皆様、今日は、我が南城市の教育行政にご尽力をいただき、心から感謝を申し上げます。また、前城盛雄委員に於かれましては、今回から参加でございますが、是非、南城市の教育行政に新風を吹き込んでいただきたいと思います。大変すばらしい委員の中で教育行政ができることは大変誇りに思うと共に大変期待をしております。

今般、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正ということで、2回目の会議となっております。

私は、地方教育行政法の改正をあまり望んではいなかったというのが実感であります。政治が教育に介入することは中立で公正な教育行政が行えないと危惧しております。私も10年目になりますが、「子供たちが伸び伸びと勉強できる環境を作らなければいけない」と学び舎は常に他の社会資本の整備よりも優先させて行ってきました。残すは大里北小学校と大里中学校の2つの学校ですが着々と進んでおり方向性が見えております。また、沖縄の風雨は侮れないものがあり、補修等で対応しているケースが多いことから、今後の補助事業・財源等を見越して、校舎建築に於いて耐久性を持たせるために防水等を施すよう指示しております。これは、海沿いにある自宅をメンテナンスして気づいたことです。

教育の中身については、専門の先生方にお力添えをいただきながらご教授いただき、忌憚のない意見をいただきながら、今後の教育行政をどうするか、行政がどうサポートできるかということを含めて考えていきたいと思っていますので、よろしく申し上げます。

2. 教育長挨拶

こんにちは、昨日は小3、小6と中3を対象に全国学力・学習状況調査が行われ、国語・算数（数学）の2教科に894名の南城市内の子どもたちが受験をしております。文部科学省では、8月に都道府県別の配給正答率を配布する予定でありますけれども、子供たち・先生方の頑張りが良い結果として表れることを期待しております。

新年度がスタートして、各学校・幼稚園の子供たちが毎日元気いっぱい勉学に励んでいると聞いております。私も毎朝通勤途中で馬天小学校前を通りますけれども

子供たちの登校を安全に見守るスクールガードが安全指導しているのを見かけますが、これは南城市全域で見かける光景で、「地域の子どもは地域で守り育てる」良い見本であると非常にありがたく思っている次第です。

古謝市長から心強いお言葉をいただきました。「町づくりは人づくりから」と「学校環境の整備、生涯学習、地域文化の振興、人材育成等」教育振興のためにご理解ご支援いただくことに深く感謝申し上げます。

27年度は佐敷幼稚園の園舎、馬天小学校の体育館、プールが立派に完成しております。大里北小学校については、特段のご配慮をいただきまして3月中に全教室にクーラーを設置していただきました。本当にありがとうございました。子供たちも大変喜んでおります。玉城中学校の図書館、特別教室の改築工事も順調に行われております。今年度は大里北小学校の実施設計、敷地造成工事がとりおこなわれる予定となっております。更に電子黒板、校内LANの環境、学校の情報化が推進されることになっております。特別支援教育もかなり充実しており島尻特別支援学校の分教室も連携を図り順調に運営されております。「共に学び共に生きる」インクルーシブ教育が確実に推進されているところでございます。

本年度は中学校校区に4名のスクールソーシャルワーカーが配置されて、子供の貧困対策に取り組んでいく運びとなっております。

28年度より生涯学習課が設置され、社会教育、社会体育の充実強化を図っていく運びです。

選挙法の改正に伴もない主権者教育、議会傍聴、中学生議会の開催に取り組んで行きたいと思っておりますので、執行部のご理解ご支援をお願いしたいと思っております。教育環境は一刻一刻と変化してきておりますので、この総合教育会議で方向性を共有しながら共通認識を持ちながら、教育施策の振興にあたることが大変重要だと認識をしております。これからの時代を担う子供たちは、南城市の宝であり地域の財産であります。持っている可能性を引き出し、心豊かに逞しく成長させていく環境を整備していくのが使命だと認識をしております。

南城市の教育が更に発展するように忌憚のない意見を出し合い、活発な意見交換をしながらより良い方向を見出していきたいと考えておりますので、本日は、どうぞよろしくお願い致します。

3. 委員より自己紹介及びあいさつ

金城委員長

3年目を迎えますが、南城市内の小中学校を訪問して徐々にではあるが地域で子供たちを育てようとする意識・考え方が芽生え、活性化してきていると感じています。

いろいろな優秀な人材が出てくると期待しているところです。

屋宜委員

委員長と同じく3年目を迎えますが、保護者としてまた委員として声を反映していきたいと思っておりますので、お願いいたします。

上原委員

委員になり2年目ですが、学校を訪問して、南城市は、子育てに良い環境だと感じていますが、小さい子供や学校に来ることを躊躇っている子供たちの支援ができないかと考えておりますのでよろしくお願い致します。

前城委員

高校（教員）を定年して5年になりますが、小中学校のことをよく知らないため、委員会より資料を取り寄せ、勉強中ではありますが、子供たちが夢や希望を持つことにより学習意欲を持つと考えております。また、先進的な教育を南城市は取り組んでおりますので、共に頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

4. 執行部の紹介

5. 執行部より資料の確認

- ・会議次第
- ・会議規則の一部改正
- ・教育主要施策の説明

6. 会議の進行

古謝市長 これより私が議長を務め、会議を進行していきます。

まず初めに今年度の教育委員会の計画について「教育主要施策の策定について」執行部からの説明をお願いします。

事務局（具志統括指導主事） 「教育主要施策の策定について」説明

事務局（泉課長）この主要施策については、先の教育委員会議にて決定されておりますので、報告ということでお願いします。

古謝市長 確認ですが、この「教育主要施策の策定について」は教育委員会の中で確認したもののなので、お互いが共通認識を持ち、疑義があれば確認して会議を開催して修正していくということで、私は考えていますが、よろしいでしょうか。

委員全員 異議なし。

古謝市長 「教育主要施策の策定について」執行部から説明がありましたが、ご意見はありませんでしょうか？

前城委員 進行方法について、この会議は調整意見交換会の場ということで理解しておりますので、市長の見解もお聞きしながら進行できればと思いますので、よろしくお願いいたします。

上原委員 今回の「教育主要施策の策定」は、委員が中身を議論・検討を重ねて策定したものであり、今年度の教育委員会の施策として認識しているので、教育委員会議で進行状況をチェックしながら、業務に反映できているか確認しなければいけないと考えている。

要望になるが、この会議を活性化するために事前に課題検討事項を教育委員会会議で図りながら提案していければと感じた。

古謝市長 この会議には、教育行政をどのように導くかというのが最大の議論でありますので、「子供たちのために何ができるか」ということを最優先に考え、教育委員会でまとめていただけたと思います。

古謝市長 お諮りします。

ただ今、事務局より、提案のありました「教育主要施策の策定について」は、原案のまま進めていくことにご異議ありませんか。

委員全員 異議なし

古謝市長 異議なしと認め、原案のとおり決定したいと思います。

古謝市長 次に今後のスケジュールについて、事務局より説明をお願いします。

事務局 別紙（平成28年度 総合教育会議と関連する主なスケジュール(案)）を説明

古謝市長 お諮りします。

ただ今、事務局より、今後のスケジュールについて説明がありました、原案のとおり決することにご異議ありませんか。

委員全員 異議なし

古謝市長 異議なしと認め、原案のとおり決定したいと思います。

古謝市長 次に意見交換会に移りたいと思います。

古謝市長 児童デイサービスを運営している方から、児童デイサービスが作成するセルフプランという計画を認めていただき、不登校だった子供が毎日利用しています。また、教育委員会が配布している「わくわく漢字検定」を事業に活用しているという報告をもらいました。民間の事業所で成功している事例があるので、確認したいと思っている。

前城委員 課題というのは山積していますが、すべてを行うというのは不可能であるが、ポイントを押さえて集中して解決することができれば、自ずと道は開ける可能性があるので、キャリア教育・進路指導を小学校から力を注いで、夢や希望を持てる子供を育成してほしい。

国内にとどまらない大きな器を持った子供を育ててほしい。

情報化時代の中で、市内の学校ではデジタル化が進んでいるが、離島地域では、東大とのテレビ会議システムを活用するなど先進的に活用してほしい。

古謝市長 北中城村では情報教育の中で、海外短期留学に参加した子供たちがドットプログラムを活用して、子供たちの英語力が非常に伸びてきている。南城市でも活用できないか確認させています。

金城委員長 小さい時から自分で勉強する方法を確立することができれば、伸びることができるが、かなり難しいことなので、集中力を高める、何かに夢中にさせることで変化が生じると思うので、新聞の投稿欄に応募する、コンクール・スポーツ大会に参加するなど機会を与えることで、自信がつくと思う。皆で一丸となって南城市から世界に羽ばたける子供を育てていきたい。そのためには、国語力・読解力をつけなければいけないと思っています。

上原委員 先ほど市長から、今年度の職員採用で特別推薦枠を設け、人材・指導力のある職員が採用できたとありましたが、南城市内に赴任してきた先生にも進路指導・キャリア教育の第一人者やかなり優秀な人材がいるので、南城市独自に教材研究、指導力の向上ができるように場を設定するなど環境を整えて、全体に波及できるようにしてほしいと思う。

古謝市長 指導力のある先生方の育成ということは良いことなので、子供たちのためにもぜひ実現してほしいと思います。

屋宜委員 親の理解が得られず、学校に通えない不登校ぎみの子供が児童館に遊びに来ると聞いたことがあるが、関連部署が情報共有して連携することで解決に導くことができるように対策を講じてほしい。（現在は学校に通うようになっていると聞いている）

古謝市長 貧困が原因でそのような状況になっていることも考えられるので、対策を行政が責任を持って真剣に検討しなければいけないと考えています。

前城委員 子供にとって、親の力・教育力が非常に大きな影響を与えているので、PTAとの連携も含め、生涯学習の充実が大切だと考えています

金城委員長 非常に難しい問題であるが、「選択肢を広げるために学力をつける」そのために努力しなければいけないのと継続は力なりと気付かせるため、小さい時からコツコツと積み重ねることを自覚させることが必要だと思う。また、南城市の子どもは自然環境が豊かな地で育ってきているので、環境的には整っていると思う。

古謝市長 地域の子は地域で見守る環境は整っていると思います。

金城委員長 地域性に誇りを持てる教育に導くべきだと思います。

上原委員 母子家庭の環境では、生活に比重が偏っているため、子供の教育に余裕がない場合があるので、民生委員など地域の方が連携を図り協力しながら支えていく必要があると感じているが、空回りをする時があるので憤りを感じている。また、いくら周りが協力しても親の意識が変わらないと子供に良い影響を与えないのも現実です。

古謝市長 親の考え方を变えることは簡単ではないが、子供たちのためにどうにかしなければいけないと痛感しています。

古謝市長 今回、内閣府より貧困対策等で予算もついているので、市でどのようにサポートでき、何ができるかを教育委員会でも議論してほしい。

古謝市長 市では、雇用サポートセンターを設置して、情報発信を行い、雇用促進をはじめ様々なサポートを行ってきた。母子家庭などには、子育てができるように身近な場所で働く環境を整えてきました。

前城委員 国内外に子供たちの活躍や南城市の教育をPRしていくために、教育委員会に広報担当を置くことを検討してほしい。

古謝市長 他にございませんでしょうか。

古謝市長 年2回の開催と限られた時間ではありますが、今回の会議同様、忌憚のないご意見をいただき、いろいろなことを協議していきたい。また、教育委員会でも教育長を中心に実践を踏まえ協議をして、情報共有を図っていただければと考えていますので、今後ともよろしく願いいたします。

古謝市長 以上で会議を閉じたいと思います。